

NISSHA 株式会社

「2023 年 12 月期第 1 四半期 WEB 決算説明会」

質疑応答の要旨

(2023 年 5 月 11 日開催)

- Q1. デバイス事業の Q1 の実績について、前年同期と比較して売上高の減少以上に営業利益が減少した理由は何か。
- A1. タブレット向けのモデルミックスが悪化した。また、前年同期は稼働益が発生したため営業利益が押し上げられた。
- Q2. デバイス事業の Q2 の業績予想について、Q1 実績と比較して売上高が減少する一方で、営業利益が増加する理由は何か。
- A2. タブレット向けのモデルミックスが改善する見通し。
- Q3. デバイス事業における 2024 年以降のタブレット向けでの新たな事業機会に変化はないか。
- A3. 変化はない。来期の需要増加に備えて事業体制を維持する。
- Q4. 産業資材事業のサステナブル資材の需要見通しを下方修正した理由は何か。
- A4. 北米や南米でのお客さまの在庫調整などの影響を織り込んだ。
- Q5. 産業資材事業の収益性向上の進捗はどうか。
- A5. 現在は需要の減少により利益が減少しているが、収益構造は悪化していない。
- Q6. メディカルテクノロジー事業の 2024 年の業績見通しはどのようなものか。
- A6. 2025 年のターゲットに向けて売上高、営業利益は増加していくと見ている。

Q7. M&A の進捗はどうか。

A7. 常に検討している。高値づかみをしないように吟味した上で実行していきたいと考えている。

Q8. 東証が要請している PBR1 倍割れに対する考え方は。

A8. 各事業の収益性を向上させることが重要だと考えている。

以上